

低学年遠足(宇陀アニマルパーク)



写真は加工して掲載しています

あいにくの雨になりました。警報が出るかもしれないと心配もしていましたが、何とか無事バスに乗って出発することができました。雨でも何でもみんなで行く遠足は楽しいものです。見送る私にバスの中からみんなニコニコ笑顔で手を振ってくれていました。



写真は加工して掲載しています

宇陀アニマルパークに到着すると、まず最初に「いのちの学習」をしていただきました。「動物と人間はすべてつながっている」ということがテーマです。動物は「ペット」・「家畜」・「野生動物」の3種類に分類されますが、ペットが人間を癒やしてくれたり、家畜が人間に食べ物を与えてくれたり、人間の暮らしぶりによって野生動物の命が脅かされたり・・・私たちと動物はすべてがつながっているんだということを学ぶことができました。子どもたちは、みんな前のめりでキラキラと目を輝かせて学んでいたようです。



写真は加工して掲載しています



写真は加工して掲載しています

「いのちの学習」が終わると、今度はスタンプラリーです。宇陀アニマルパークは

広大な敷地です。晴れていれば思いっきり遊び回れる広大な草原もあります。

その中に点在するウシ・ヤギ・ウマ・ヒツジ・ウサギ・犬・ねこ・にわとりなどの飼育小屋を順に巡っていきます。それぞれの場所でスタンプを押して動物観察をしていきます。みんなの目は輝いているものの傘を持って、バイナーを持って、水筒を持って・・・自分のことに精一杯だった子もいたようです。そりゃそうですね。まだまだ低学年。たいへんだったでしょうね。でもそんなことの一つ一つは大きく成長するための大切な経験なのです。



写真は加工して掲載しています



写真は加工して掲載しています

お弁当は学習館前の広いスペースで、みんな持ってきたレジャーシートを広げ、いつもの教室で食べるように間隔をとり、コロナ対策をしながらも楽しく食べることができましたよ。

学校に戻って来た子どもたちを出迎えると、「たのしかった〜。」「でも、つかれた〜」「ねむたい〜」とまたニコニコ笑顔で報告してくれましたよ。

下校時にはなぜか、むこうでは使わなかった雨合羽をきて、なんだかうれしそうに帰って行きました。